

## VIII 関連施設報告

### 1 聖公会関係大学・短期大学学長懇親会

#### 1. 日時・場所・出席者

〔日 時〕 2013年11月18日 13:00～16:00

〔場 所〕 ホテルグランヴィア大阪

〔出席者〕 桃山学院大学：学長 前田徹生・社会学部教授 伊藤高章

名古屋柳城短期大学：学長 新海英行

立教女学院短期大学：学長 若林一美

平安女学院大学：副学長 坂口慶治

神戸松蔭女子学院大学：学長 郡司隆男

神戸国際大学：学長 遠藤雅己

立教大学：総長 吉岡知哉

プール学院大学：学長 木村一信・副学長 蔵田實

聖路加看護大学：学長 井部俊子・事務局長 渡辺明良

#### 2. 各大学・短期大学の学事近況報告

#### 3. 議事

##### 1) 2014年 CUAC 総会・2015年 CUAC アジアサービスラーニングプログラムについて

- ・2014年7月5日～7月13日に韓国にて総会を開催。
- ・2015年度は教員の派遣や学生の参加を計画する。

##### 2) 建学の精神に基づいた教育（キリスト教教育）の在り方について

- ・キリスト教活動センターの設置や行事などにおける礼拝の在り方、ボランティア活動の実際、聖歌隊の活動、クリスチャンコードの実際など、各大学、短期大学における取組について情報交換を行った。

##### 3) 私立大学等改革総合支援事業について

- ・自治体との包括連携協定の実践について、各大学、短期大学から情報を得た。
- ・プール学院は2つの自治体と13の教育委員会と提携している。インターンシップや市民講座に講師を派遣している。教育委員会とは留学生の国際交流などを行っている。
- ・立教大学は豊島区、新座市、埼玉県、陸前高田市

と提携。

- ・桃山学院は和泉市など20以上の提携があり、定期的に協議会を開催している。

#### 4) 高大連携と大学における初年次教育について

### 2 リエゾン・コミッティ

#### 1. 役割・職務

St. Luke's Medical Center, Tokyo のための基金、Teusler Memorial Fund の使途に関する病院との合同協議

#### 2. 活動内容

2013年度は開催なし

### 3 聖路加国際病院ナースマネージャー会

#### 1. 役割・職務

- 1) 聖路加国際病院のナースマネージャー会への出席（原則として第1、第3水曜日13:00～14:00）
- 2) ナースマネージャー会における議題のうち、本学の教育・研究に関わる事項について教職員に伝達する
- 3) 必要に応じて、本学の教育・研究活動について伝達する

#### 2. 活動内容

- 1) 2013年度のナースマネージャー会は24回開催され、開催日は下記のとおりであった。  
4月10日,24日、5月1日,15日、6月5日,19日、7月3日,17日、8月7日,21日、9月4日,18日、10月2日,16日、11月6日,20日、12月4日,18日、1月8日,22日、2月5日,19日、3月5日,19日。
- 2) ナースマネージャー会では、聖路加国際病院並びに関連施設における看護提供に関わる問題の検討ならびに、変更事項の通達がなされる。このうち、本学の教育・研究に関連する事項について「ナースマネージャー会報告」と題し教職員に向けてメールを発信した。

また、看護手順の改訂がなされた際には、教職員にメールにて情報提供を行うとともに、図書館に所蔵している看護手順等を新たな版に差し替えるよう依頼した。

- 3) ナースマネージャー会において、本学における学事行事、学会、研究会等の開催に関する情報提供を行った。

7月3日の会にて、本学主催の看護師向けの研修会について、聖路加国際病院の看護師へ案内する方法の検討を行った。その結果、本学研修会担当者は、チラシなどの案内をPDF形式としメールに添付して教育研修部のナースマネージャーなどに送信することとした。窓口となるナースマネージャーが、情報をイントラネットに掲載し、すべてのナースマネージャーに配信するという方法に決定した。

### 3. 課題

聖路加国際病院においては、看護手順も含め、いくつかの手順等が作成、改訂されている。これらについて、過不足なく本学教職員に伝達していくことや、更新情報が漏れなく伝達される仕組みを構築することが課題であると考えられる。

## 4 ウィリアムズ主教記念基金運営委員会

### 1. 役割・職務

- 1) ウィリアムズ主教記念基金運営委員会（委員長：吉岡知哉立教大学総長）に、聖路加看護大学からの委員としてウィリアムズ主教記念基金の運営に参加する。

### 2. 活動内容（上記1に沿って記述）

- 1) 5月10日の第105回運営委員会に参加し下記の報告を受け、課題について話し合った。
  - ・客員研究員3名の動向について：Sierra Leoneからの1名（2011.10月～2013.3月）は、14科目を履修し、すべてAの評価を受け終了帰国した；選考した1名は、辞退する旨（結婚のためのオーストラリア渡航）について雇用主より連絡があった；1名（リベリア）（2013年10月～2015年3月の予定で来日し、研究を開始する予定、

- ・2012年度の会計報告と2013年の予算案についてウィリアムズ記念講演会（Robert M.Bellah氏9月27日～10月8日に招聘の際の、指定寄付の移管処理がなされず、その後会計年度が変わり、収支報告書に反映できなかったことについての説明があり、2013年度4月現在の基金元本は66,037,170円であることが報告された。

- ・第13回の記念講座講演録の作成に関して、立教大学での講演会（2回分）とシンポジウムは岩波書店より書籍として発刊されるため、本講演録には掲載しないことが確認され、1000部を作成し、前例に沿って900部を配布、100部を残すことが話し合われた。

- 2) 12月6日の第106回運営委員会に出席し、下記の報告を受け、課題を審議した。

- ・客員研究員の状況および辞退報告

現在、来日中の Mr. James Daiwarkollie Owah 研究員より研究が順調に進捗しているとの報告があった。

- ・2014年度の予算に関して審議した。

- ・2014～2016年客員研究員（応募者総数4名からの選考）

順位を決め、2名の客員研究の選考を行った。

第1位選考者 ウガンダの Nanziri, Brendar 氏へ連絡し、来日意志を確認する。第2位には、Agway, Gerald Gaccad（フィリッピン）が選考されている。

- ・次年度運営会議・客員研究員の募集・選考日程について、前例を参考に決定した。

運営委員会 2014年5月13日（火）18時～20時

選考小委員会 2014年11月18日（火）18時～20時

運営委員会 2014年12月5日（金）18時～20時

### 3. 課題

- 1) ウィリアムズ主教基金で運営されている客員研究員は年々応募が少なくなっている。

引き続き、研究員招聘制度のニーズの見直し等運営委員会の課題である。

- 2) 聖路加看護大学でも引き受けたいが、受け入れ条件に満たない。積極的な看護・医療の研究生のリクルートに関して取り組む必要がある。